

彼方「かなた」

校長通信

H29.5.17

Vol. 7

【生徒総会で学校改善を！】



白杉生徒会長から「昨年度とは違う生徒総会」という思いが語られました。今年度の予算や活動計画が書かれた議案書を各学級で事前に読み合わせてもらう中で、『白山中三つの伝統』をどうしたらもっとよくできるか? という課題を生徒会執行部から各学級に投げかけたのです。とてもシンプルな問いかけですが、生徒総会が持つ意味を全校生徒に理解させてくれるものとなりました。

各委員会や各学級で、この問いかけについて真面目に話し合いが持たれ、沢山の意見が出されました。

- ・「あいさつ運動に協力し、呼びかける。」
- ・「授業前のあいさつの声を積極的に出し、前向きな姿勢で授業に参加できるようにする。」
- ・「清掃の始めと終わりのあいさつをしつかり行う。」
- ・「あいさつの『あいさつのお作文』をつくる」
- ・「クラスとして、あいさつに積極的に取り組む。」
- ・「集中して取り組めるよう



の美化につながるようにする。」

- ・「歌声開始二十秒移動をクラス全員が守れるように呼びかける。」
- ・「歌声交換会や合唱コンクールまでのカレンダーを作って教室掲示する。」
- ・「日常の歌声活動を計画的に行う。」
- ・「昼の放送で昨年度の合唱コンクールの曲を流す。」

さまざまな意見が出されました。発表できなかった学級もありましたが、全校で白山中学校をより良くしていくこうとする気持ちが伝わってきました。

しかし、勝負はこれからです。意見だけ出し合っても、具体的に形にしていかなければ意味がありません。どのような各学級で「白山中三つの伝統」に取り組むのか、委員会の活動として具体的にどのようなシステムを作っていくのか、考えていかなければなりません。いつまでに何をやるの

に無言清掃の呼びかけをする。」

- ・「給食で出るゴミを教室や廊下に落とさないように呼びかける。」
- ・「清掃の呼びかけの場として放送を活用してもらう。」
- ・「きれいな花を育て、学校の



か。取り組む期間はどれぐらいか。検討しなければならぬことが沢山出てきました。全校生徒を巻き込んで、みんなで取り組むことで自分たちの良さが見え、仲間同士の絆が太く、深くなるのだと思います。そう言う意味でも生徒会執行部は大変有意義な提案ができたと思います。今後は、より具体的な活動原案が立てられ、中央委員会等で話し合われ、みんなで取り組むべき内容が決定されていくと思います。大切なのは自分達で決めたことを自分たちで行動し、実現させていくという民主主義の基本を学ぶことです。

白山中学校の校歌を作詞してくださいと加瀬先生は、我孫子市選出の国会議員で参議院議長を務めた方です。民主主義を最前線で築き上げていた方です。その思いが校歌の歌詞に込められているのです。学校も国と同じです。そこで生活する私たちが、自分たちの生活をより良くするために知恵を出し合い、議論し合い、力を合わせていかなければならないのです。

「みんなで決めたことは、みんなを守る」これを実現するには、白山中がひとつにならなければなりません。大きな挑戦です!

「頑張れ!白山中生徒会!」

